

はいはい上手になったでしょ♡

10月の子ども様子 ひよこ組

～ねらい～

- ・気温の変化に留意し、健康に過ごせるようにする
- ・十分に体を動かして遊び、探索遊びを楽しむ
- ・秋の自然に触れ、親しむ

腹ばい、ずりばい、はいはいと体の使い方が変わってきて、とっても上手にはいはいをするお友達が増えてきました。はいはいはとっても大切な動きなので、たくさんはいはいできるように、マットに高低差をつけたり、トンネルも加えたりしながら毎日繰り返したくさん遊びました。お友達存在に気付き、顔を見合わせることも♡これからもみんなではいはいをたくさんできるような遊びを取り入れて行きたいと思っています。



はいはいは全身の筋肉を使う運動なので、全身の筋肉を育て筋力を強くする効果があります。はいはいができるようになると、気になるもの、触りたいものに近づくことができ、大好きな人の近くや、いろいろな場所へ自分でいけるようになるので、脳の発達にはとても良いだけでなく、赤ちゃんの好奇心も満たしてくれます。また、はいはいをすることで自らの体重を腕で支える力が培われるので、歩くようになってからバランスを崩して転びそうになった時、あるいは何かにぶつかりそうになった時など、私たちが身体的な安全を守る時にとても大切な動きにつながります。



歩くことが上手なお友達、もう少しで歩けそうなお友達、伝い歩きがとっても速くなってきたお友達…発達段階は一人一人違いますが、同じ玩具や同じ遊具で遊ぶこともあります。「何だろうあれは?」「自分も…」と小さいながらも子どもたちは感じて、「やってみよう」とします。そんな子どもたちの気持ちを大切に、「やってみようか」と保育士が側と一緒に遊ぶことで、子どもたちの表情がよく見え、「もう少し…」「頑張れ」「できたー」「もう一回!」など言葉にして関わっています。子どもたちの好きなことが時には「困ったこと」に見えること(いたずら♡)もありますが、遊びに取り入れることで楽しい遊びになります。子どもたちと一緒に楽しみ、喜び、時には泣きたい気持ちを受け止めて、子どもたちがまたやってみよう!と思える、よう、『心の安全基地』になれば…と思ひ毎日関わっています。子どもたちの姿に、毎日「かわいい♡」が止まりません♡

お外でみつけた! ♪

秋晴れが続き、戸外に出て秋の日差しや風を感じながら、落ち葉や草花に触れてみました。落ち葉を握ってパリパリという音と共に、落ち葉が小さくなる様子をじーっと見るお友達もいましたよ。実際に触ってみて、引っ張ったり、ぎゅっと握ったりして、小さなかわいい手で、一生懸命何かを確かめているようでした。戸外は五感を刺激することができるっておきの場所です。お外でのすやすやタイム…気持ちよさそうです♡



「あーあー」「うーうー」など赤ちゃんたちの言葉でお話していますが、大きくなってきたお友達は「んまんま」「わんわん」「だっこ」などの言葉も出てきました。「ご飯食べようか」「ミルク飲もうか」などの声に反応し、椅子に座ろうと保育士の側に来たり、手を合わせたりします。子どもたちの動作に合わせて、大人が声をかけることで、自然と子どもたちは言葉と動作を一致させ、たくさん覚えていきます。絵本だけでなく、子どもたちや動物の写真を貼ることで、コミュニケーション手段を増やし、今後も楽しみながら言葉の発達も促していけるようにしたいと思います。

